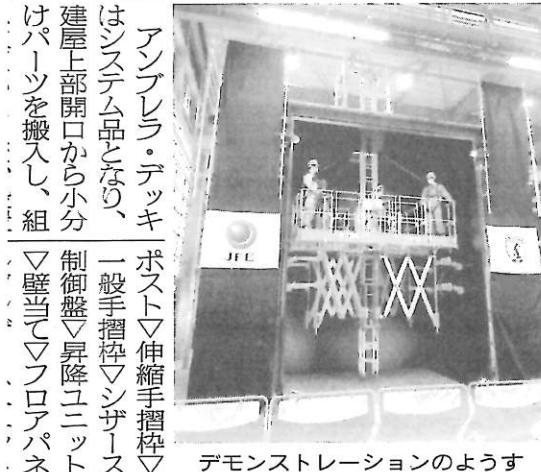


**JFEエンジニアリング**と日総産業は3月22日、廃棄物焼却施設等のメンテナンス工事向けの新型伸縮足場アングと日総産業は3月22日、廃棄物焼却施設等のメンテナンス工事のため、安全性等の仕事で設備内部に単管足場を仮設しているが、作業性の悪さや技量の差による



デモンストレーションのようす

「アンブレラ・デッキ」を開発する。現在2022年度中の製品化に向けて調整を進めている。焼却施設等のメンテナンス工事では、設備はシステム品となり、一般手摺桟やシザースランプ、デッキ」を発表した。システム品

建屋上部開口から小分けペーツを搬入し、組み立ててフロアパネルに設置する。このため、安全性等の仕事で設備内部に単管足場を仮設しているが、作業性の悪さや技量の差による

「アンブレラ・デッキ」は、従来の伸縮足場よりも構造が複雑で、設置・撤去作業が複数回必要となる。そこで、JFEエンジニアリングは、従来の伸縮足場の構造を簡素化し、設置・撤去作業を1回にまとめることで、より安全かつ効率的な作業を実現する。また、構造の簡素化により、設置・撤去作業の時間も大幅に短縮される。

今後、JFEエンジニアリングは、この新技術を更に改良し、より多くの現場で採用されるよう努力していく。また、この技術は、単管足場の代替として、今後ますます広く採用される可能性がある。

（本文は、JFEエンジニアリングの発表文を基に作成）

## 産廃コンテナbee



「産廃コンテナbee」のロゴ

エスエムエス(和歌山市、辻雅敏社長、073・435・4111)は、産廃用コンテナをオンラインで管理できるサービス「産

廃コンテナbee」の提供を開始した。専用のQRコードシールをコンテナに貼り、スマートフォンで読み取ることで、コンテナの設置や

引き上げ状況、交換回数依頼などの管理を行うことができる。管理業務の効率化や、コンテナの紛失を未然に防げるとして、全国に向け提案を進めていく。

同サービスは、専用のアプリケーションやソフトウェアが不要でインターネット接続環境があれば利用できる。

スマートフォンでコンテナのQRコードを読み取ることで、コンテナの設置件数50件までは基本料金に含まれ、51件以上は件数に応じた料金が必要となる。

月間の利用料無料キャンペーンを実施しており、専用サイトから申し込みを受け付ける。

同社は、プラスチックに関して20年の経験を持つている。顧客の立場にたって開発した

## スマホでQRコードを読み込み管理

スマートフォンで読み取る。GPS情報と連携することで現在地が分かる仕組み。コンテナに産廃が溜まつたら、排出事業者がQRコードを読み取ると、回収依頼が登録のメールアドレスに届く。月額基本料金は、税込1万1000円。

また、設置場所を地図上で表示でき、その画面から回収に向かう経路の確認やナビゲーションにも対応する。

使用方法は、コンテナに専用のQRコードシールを貼付。コンテナ回収業者は、コンテ

ナの設置・引き上げデータを集約でき、管理業務の簡略化につながる。貸し出し中のコンテナの状況は画面上で一覧にして確認可能。

引き上げ状況、交換回数依頼などの管理を行なうことができる。管理業務の効率化や、コンテナの紛失を未然に防げるとして、全国に向け提案を進めていく。

（本文は、エスエムエスの発表文を基に作成）

## 環境機械の販売を強化

-INTCO GREENMAX-

部品を確保、短納期を実現

環境関連機械の製造・販売等を手掛けるINTCO GREENMAX社(米国)は、

発泡スチロール減容機の部品は全世界から仕入れて、20年間にわたって完全なサプライヤーシステム

を構築している。十分な部品在庫を確保することで短納期を保証する。

（本文は、INTCO GREENMAXの発表文を基に作成）



発泡スチロール減容機「GREEN MAX」

## 水素コジェネの取扱開始へ

ヤンマーエネルギーシステム

独2G社製を2022年度内に

ヤンマーホールディングスグループのヤンマーエネルギー・システム(大阪市、山本哲也社長、以下YESS)は、ドイツの2G社製100%水素燃料コージェ

ネレーション・システムを、2022年度内に日本で取り扱い開始する。今夏をめどにYESSの岡山試験センターに同システムと水素発生装置(E

napter)を設置し、施工やメンテナンス性などを検証を行う。その後、現物を視察で

JFEエンジニアリング常務執行役員の西野雅明氏は、「アンブレラ・デッキは当社から日総産業へ開発の相談を行った。作業員の高齢化や熟練技能者の減少、労働力の低下等が